わかりやすく解説

花巻市の財政

（平成27年度当初予算から）

花巻市のマスコットキャラクター
フラワーロールちゃん

花巻市の財政状況を
わかりやすく
解説します。

もくじ

その１　市民生活を支える財政・・・・・・・・・・１
その２　平成27年度予算をもとに
　　花巻市の財政状況を見てみよう
　　①　花巻市のお財布はどうなってるの？　２
　　②　市の歳入はどんな状況？・・・・・・３
　　③　市の歳出はどんな状況？・・・・・・４

花　巻　市

その1　市民生活を支える財政

財政は私たちの生活を支える重要な役割をはたしています

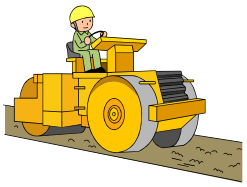
市民の皆さんから納めていただく税金や使用料、国・県からの補助金、交付金など、また、銀行等からの借入金（市債）などの収入を、どんな目的（福祉や教育など）に使うかを決めることを「財政」といいます。

それを数値で示したものが「予算」であり、また、計画した予算をどのように使ったか、その実績と成果を明らかにしたものが「決算」です。

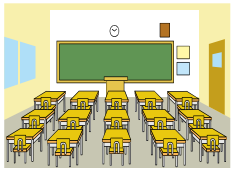
- 財源としての収入見込
- 実施規模の見込

→ 財政的な計画 ↓ 予　算 → 実　施

皆さんの生活の中のさまざまな行政サービス



道路の建設・維持管理

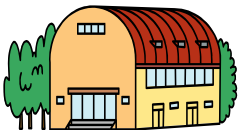


小・中学校の維持管理

高齢者への福祉サービス

保育園での保育サービス

消防・救急活動



体育館・図書館の運営

このようなたくさんの行政サービスを行っていく上で必要となるお金をやり繰りしているのが財政であり、市民生活を支えるとても重要な役割を果たしています。家計に例えれば、給料などで得た収入を、食事にどれくらい使おうか、子どもの教育にいくらかけようかなど、その使い道を考えることと同じです。

日常生活に関わりの深い主な行政サービス

- 防災・安全対策
- 道路・公園の整備
- 学校の維持管理
- 消防・救急活動
- ごみと資源の収集
- 検診や予防接種などの健康事業
- 高齢者等への福祉サービス
- 広報紙などによる広報活動
- スポーツ・文化施設の利用

など

その2　平成27年度予算をもとに花巻市の財政状況を見てみよう

1 花巻市のお財布はどうなってるの？

花巻市の予算は、一般会計と特別会計の２種類の会計があります。

２つのお財布があって、それぞれお金を出し入れするしくみです。

一般会計
464億　207万円

一番目の大きいお財布が「一般会計」です。

一般会計とは、教育・福祉や道路・公園の整備など生活に深くかかわる事業を行うための会計です。
平成27年度の当初予算の額は、464億207万円です。

二番目のお財布が「特別会計」です。

特別会計とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。
花巻市では、６の特別会計があります。

特別会計
289億3,807万円

- 国民健康保険・・・113億3,265万円
- 後期高齢者医療・・・19億1,447万円
- 介護保険・・・・・　98億7,968万円
- 公設地方卸売市場事業・・・・　1億4,547万円
- 下水道事業・・・・・・・・　40億5,424万円
- 農業集落排水等汚水処理事業　16億1,156万円

一般会計　＋　 　特別会計　＝　全会計予算額

464億　207万円　　289億3,807万円　　753億4,014万円

2 市の歳入（入ってくるお金）はどんな状況？

では、皆さんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成27年度の歳入（入ってくるお金）がどのようになっているのか見てみましょう。

花巻市の歳入（入ってくるお金）には、自主財源と依存財源の２種類の性格があります。

自主財源
142億6,747万円
（30.7%）

皆さんに納めていただく市税や、スポーツ施設などの施設を利用する時に納めていただく使用料、住民票や印鑑証明を交付するときにいただく手数料など、花巻市が自主的に調達することができるお金のことを言います。

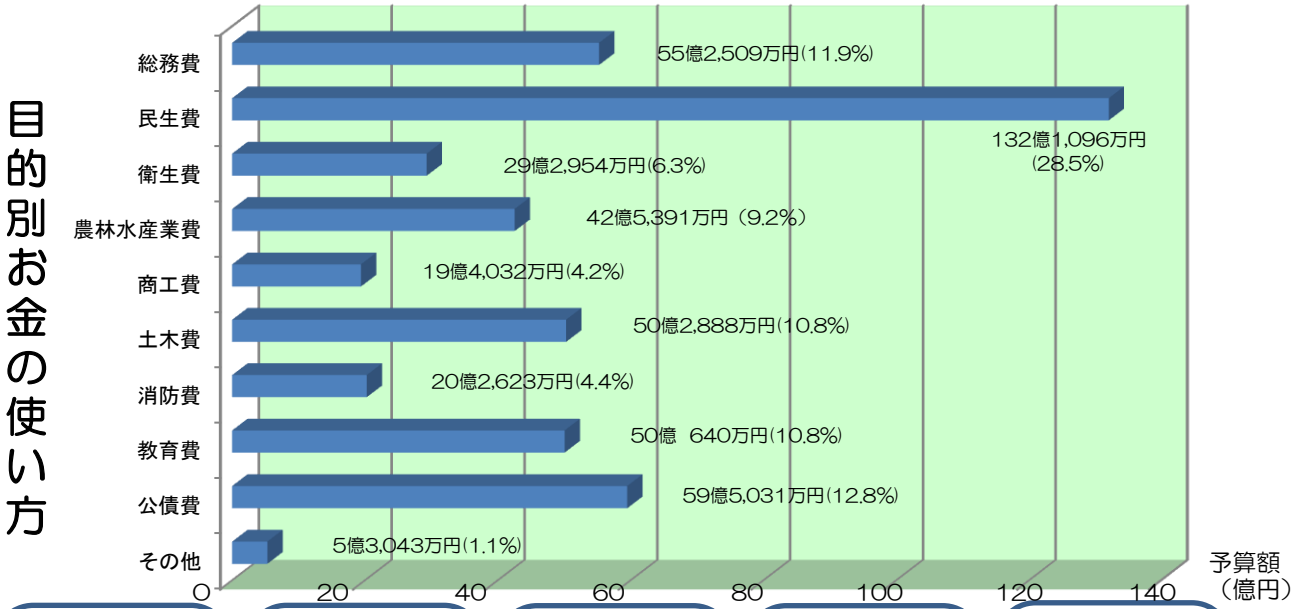
依存財源
321億3,460万円
（69.3%）

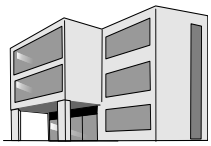
道路や施設を作るときに国や県からもらう補助金、同じように道路や施設を作るときに借りる市債、国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税がこれにあたります。
依存財源は、市の都合だけでは調達することができないお金です。また、使い道が決められているお金も入っています。

	項　目	金　額	割　合	内　容
自主財源	市税	109億2,181万円	23.5%	住民税や固定資産税など
	使用料及び手数料	7億6,664万円	1.7%	スポーツ施設の使用料など
	分担金及び負担金	6億　201万円	1.3%	保育料など
	財産収入	4,998万円	0.1%	建物貸付料など
	その他	19億2,703万円	4.1%	基金からの繰入金、寄附金など
	計	142億6,747万円	30.7%	
依存財源	地方交付税	154億3,000万円	33.3%	国から一定の基準で交付
	国庫支出金	53億7,426万円	11.6%	国から必要に応じて交付
	県支出金	44億2,764万円	9.6%	県から必要に応じて交付
	市債	43億4,780万円	9.4%	金融機関などからの借入れ
	その他交付金	25億5,490万円	5.4%	国、県から一定の基準で交付
	計	321億3,460万円	69.3%	
合　計		464億 207万円	100.0%	

③ 市の歳出（出て行くお金）はどんな状況？

入ってきたお金は、どのように使われているのでしょう？今度は一般会計の歳出（出て行くお金）について見てみましょう。
市では、道路や施設を作ったり、火災や救急に備えて消防車や救急車を用意したり、その他にも子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。
どのような目的にどのくらいお金を使っているのかを簡単に説明すると、次のようになります。





総務費
市庁舎の維持管理や、地域づくり、広報、税金や住民票交付などの仕事に使われます。防災のためのお金も含まれます。

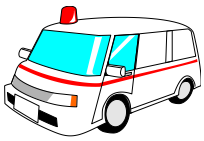
民生費
子育てに関する仕事や保育園の運営費、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や、皆さんの健康づくりのための仕事などに使われます。

農林水産業費
農業や林業などで働いている人を応援したり、森林を守る仕事などに使われます。

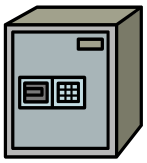
商工費
商店街や中小企業の応援、観光客の誘致、観光施設を管理する仕事などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり管理したりする仕事や、市営住宅を管理するのに使われます。



消防費
消防車や救急車の管理や購入、消防署の整備、消防団活動などに使われます。

教育費
小中学校の校舎や公民館、図書館、文化施設、スポーツ施設の整備や運営、幼稚園の施設管理などに使われます。



公債費
大きな施設や道路を作る時に金融機関等から借りたお金を返すのに使われます。

その他
議会運営のための「議会費」や、働いている人や仕事を探している人を応援する「労働費」などです。